

広島市植物公園 見どころ案内

コショウノキ

(ジンチョウゲ科)

白い花が咲いています。沈丁花に似た花で、よい香りがします。初夏に真赤な実をつけます。

ミツマタ

(ジンチョウゲ科)

中国原産。黄色い花が咲き始めています。枝が三つに分かれて出ることからこの名がつけました。昔は、紙の原料として使われていました。

セツブンソウ

(キンポウゲ科)

開花中。白く見えているのは花弁ではなく、ガクになります。花弁は退化し、黄色(蜜腺)く見えます。中央部に紫色のオシベ、メシベも確認でき、色とりどり。準絶滅危惧種。

ユキワリイチゲ

(キンポウゲ科)

清楚な淡紫色の花を咲かせました。天気の良い昼間に開花し、曇天の日には閉じています。春を告げる植物の一つです。

ハンギング

バスケット

カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。パンジー、コニファー、オカメツタ、シロタエギクなどを使っています。
[日本ハンギングバスケット協会 ハンギングバスケットマスター作]

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)

百数十株の園芸品種を植栽。白、緑、紅など、見事に色づき、八重咲きもあります。

草木染の世界展

~3月31日(木)

いろいろな草や木を使った染色方法や芸術的展示をお楽しみください。

[展示資料館1階展示室にて]

ウメ'藤牡丹枝垂れ'

(バラ科)

枝垂れた樹形から、鯉が龍になった中国の伝説にちなんで「登龍梅」の愛称で親しまれています。

薄桃色八重の遅咲き品種。今は九分咲きです。

近くにあるのは、早咲き紅梅品種「八重寒紅(やえかんこう)」で、満開です。

シナマンサク

(マンサク科)

中国原産。ねじれたリボンのような黄色い花弁を枝いっぱい咲かせています。ほかにもオレンジ色の珍しい園芸品種なども咲いています。

カワヅザクラ

(バラ科)

カンヒザクラとオオシマザクラの交雑種といわれ、淡紅色の花が咲き始めました。名前の由来になった静岡県河津町では既に開花しています。

ウメ

(バラ科)

ウメ園の40品種 130本余りの花が見ごろになりました。紅、桃色など、華やかに咲いています。

